

積資-91-30

一片持架設工法

プレストレスト コンクリート橋

標準積算要領

平成3年改訂版

社団  
法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会

東京都新宿区津久戸町4番6号(第3都ビル)

〒162 電話番号 03(3260)2535(代)  
FAX 03(3260)2518

## ま　え　　が　　き

当協会では、昭和62年に初めて「片持架設工法プレストレストコンクリート橋標準積算要領」を発刊し、各需要家のご要望に応えるべく努力して参りました。この間片持架設工法のご採用も着実に増えて、適用する橋梁の構造形式も桁橋のみならず、斜張橋、アーチ橋等にも多くの実績を有するに至っております。

この度、需要家各位からのご指導、ご指摘、また、さらに積み重ねた実績をもとに見直しを行い、平成3年改訂版として「片持架設工法標準積算要領」を発刊することと致しました。

従来各積算要領に共通して掲載されていた、共通仮設備費及び諸経費の積算要領を独立させて別冊としたことにより、本要領は片持架設工法の直接工事費のみの積算要領に衣替えしております。従ってご使用にあたっては「共通仮設備・諸経費標準積算要領」と併せてお使いいただくことになります。

今後さらにより良い積算要領とすべく、実情に即応した改正を心掛けて行きたいと思っております。各方面のご指導、ご指摘を賜わりますようお願い申し上げます。

平成3年 月

# 目 次

第1章 場所打片持架設工法の概要	1
1. 場所打片持架設工法の特徴	1
2. 場所打片持架設工法の施工要領	2
3. 片持架設用移動作業車の種類及び選定基準	3
4. 標準工程	5
第2章 工事費積算要領	10
工事費総括表	11
1. 支保工	12
1・1 枠組式支保工	22
1・2 支柱式支保工	26
1・3 ブラケット式支保工	28
1・4 吊支保工	30
2. 支承工	36
2・1 本支承工	36
2・2 中央ヒンジ支承工	40
2・3 ストッパー工	42
3. 柱頭部仮固定工	44
3・1 仮支承工	44
3・2 剛結工	50
3・3 水平ストッパー工	52
4. 片持架設工	54
4・1 機械器具費	54
4・2 附属設備費	56
4・3 作業車組立解体工	60
4・4 作業車移動据付工	60
4・5 作業車クライミング工	62
4・6 作業車引戻し工	64
5. 主桁製作工	66
5・1 柱頭部型枠工	68
5・2 片持部型枠工	76

5・3	側径間部型枠工	84
5・4	中央閉合部型枠工	90
5・5	小口型枠工	92
5・6	張出し床版支保工	92
5・7	箱桁内部支保工	94
5・8	鉄筋工	96
5・9	コンクリート工	96
5・10	表面仕上工	102
5・11	養生工	104
5・12	端面処理工	110
5・13	柱頭部前面足場工	110
5・14	橋側足場工	112
5・15	橋面手摺工	112
5・16	資材吊上吊下費	114
6.	P C 工	116
6・1	縦締 P C 鋼材工	120
6・1・1	バー システム	120
6・1・1・1	P C 鋼棒工	120
6・1・1・2	P C 鋼棒継手工（普通継手）	124
6・1・1・3	P C 鋼棒継手工（緊張端継手）	126
6・1・1・4	P C 鋼棒定着工	128
6・1・1・5	P C 鋼棒緊張工	130
6・1・2	マルチストランドシステム	132
6・1・2・1	P C ケーブル工	132
6・1・2・2	P C ケーブル定着工	138
6・1・2・3	P C ケーブル緊張工	140
6・2	横締 P C 鋼材工	142
6・2・1	バー システム	142
6・2・1・1	P C 鋼棒工	144
6・2・1・2	P C 鋼棒継手工	146
6・2・1・3	P C 鋼棒定着工	148
6・2・1・4	P C 鋼棒緊張工	150
6・2・2	マルチワイヤーシステム及びシングルストランドシステム	152

6・2・2・1	PCケーブル工	152
6・2・2・2	PCケーブル定着工	154
6・2・2・3	PCケーブル緊張工	156
6・3	鉛直斜締PC鋼材工	158
6・3・1	バーシステム	158
6・3・1・1	PC鋼棒工	158
6・3・1・2	PC鋼棒定着工	158
6・3・1・3	PC鋼棒緊張工	160
6・4	機械器具費	162
6・4・1	使用するケーブルシステムがバーシステムのみの場合	162
6・4・2	各種ケーブルシステム混用の場合	166
7.	仮支柱工	172
7・1	基礎工	172
7・2	支柱工	174
7・3	ジャッキ設備工	176
8.	落橋防止装置工	178
9.	支点反力調整工	180